

事務連絡

平成31年3月29日

国立大学法人東京学芸大学 御中

文部科学省

研究開発局

研究開発戦略官

(新型炉・原子力人材育成担当)付

国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価結果について

貴機関において実施された「国際原子力人材育成イニシアティブ事業」に係る事後評価結果を、以下のとおり通知いたします。評価基準等については、別に定める「国際原子力人材育成イニシアティブ事業 事後評価について」をご参照願います。

課題名	教員養成系大学の特長を活かした高度原子力教育カリキュラムの開発
実施機関	国立大学法人東京学芸大学
実施期間	平成27年度～平成29年度

【評価結果】

S	極めて優れた成果があげられた
---	----------------

【審査評価委員会所見】

< 推奨意見 >

カリキュラムの開発や教本の作成に留まらず、カリキュラムの実践を計画し、計画を大きく上回る人数の参加を得た。また、実践によって参加者の原子力・放射線に対する理解、知識レベルの向上のみならず、放射線教育や啓蒙活動の必要性の理解に繋がった点が評価できる。

従来事業者等が進めてきた原子力広報に比べ、中立的な教員が原子力・放射線教育を行うことに意義があり、教員養成機関大学として、学生への教育や現職教員への再教育を実施できた点が評価できる。

< 今後への参考意見 >

本事業で開発された教材を多くの教育機関で活用できるように、関連する他の教育系学部を有する大学への積極的展開を期待する。